

世の中の動きに 目を向けよう！



特別編

2022年「重大ニュース」

今回は特別編として、2022年の主な出来事をまとめた「2022年重大ニュース」を掲載します。去年1年間もまだまだ「新型コロナウイルス」に翻弄された感のある年でしたが、それ以外にも多くの大きな出来事は起きています。高校入試の面接では「1年間で気になったニュースは何ですか？」といった質問をされることもあります。また、課題作文や小論文にも時事問題は大いに役に立ちます。是非、ご一読下さい！

1 月	<ul style="list-style-type: none">■ iPS細胞の移植手術 慶應大学が人のiPS細胞から神経のもとになる細胞を作り、脊髄損傷の患者に移植する手術を実施した。■ トンガで海底火山噴火 南太平洋の島国・トンガ諸島で海底火山の大規模な噴火が発生し、日本でも津波が観測された。■ 大学入学共通テストで問題流出 実施2年目となる大学入学共通テストにおいて、世界史Bの問題が流出。試験中に設問を外部に送って解答を得たとして、流出させた女子大学生と画像を外部に送った男が書類送検された。
2 月 ・ 3 月	<ul style="list-style-type: none">■ 北京冬季オリンピック 中国・北京で第24回冬季オリンピックが開催された。日本のメダルは金3個、銀6個、銅9個の計18個で冬季最高となった。なお、北京は2008年には夏季オリンピックも開催されており、夏季・冬季の両大会を開催した初の都市となった。また国家体育場、通称「鳥の巣」も話題となった。■ 「オミクロン株」 新型コロナウイルス「オミクロン株」が大流行し、1日の感染者数が10万人を超えた。更に夏には感染力の強い同株の新系統「BA.5」がまん延し、1日の感染者数は20万人を超えた。■ ロシアによるウクライナ侵攻開始 ロシアのプーチン大統領の「特殊軍事作戦」表明により、ウクライナ侵攻が始まった。日本、欧米諸国はこれを非難し、国連では即時撤退を求める決議を採択した。加えて、G7（先進7か国）もロシア産石油の輸入禁止等の制裁を科したが、ロシアは侵略を継続し、9月にはウクライナ東南部の一方的な併合を宣言した。この侵攻は食料価格の高騰など世界経済にも大きな影響を与えている。また、ウクライナのゼレンスキー大統領は日本の国会においてオンラインで演説を行い、ウクライナの惨状、日本の対応への謝辞、ロシアに対する制裁の継続を呼びかけた。■ 東北新幹線脱線 福島県沖を震源とする地震が発生し、宮城県、福島県の各地で震度6強の揺れを観測した。この地震により東北新幹線が脱線し、福島ー仙台間で約1ヵ月運休した。
4 月	<ul style="list-style-type: none">■ 成人年齢18歳に 4月1日の民法改正により、成人年齢は20歳から18歳に引き下げられ、携帯電話・クレジットカード・ローンの契約など「親の同意なし」で可能となった。また、結婚可能年齢は男女ともに18歳となった。■ 知床で観光船沈没 北海道・知床半島の沖合を航行中の観光船「KAZU I」が沈没した。この事故で乗客乗員26名のうち20名が死亡し、乗客6名が行方不明となった。

5
月

■ 韓国新大統領

韓国で保守系の最大系統「国民の力」から立候補していた尹錫悦（ユン・ソンニョル）氏が大統領に就任した。保守政権の誕生は5年ぶりとなる。

■ 沖縄本土復帰 50 年

戦後 27 年間にわたり米軍統治下におかれていた沖縄は 1972 年 5 月 15 日にアメリカから返還され本土復帰を果たし、今年で返還 50 年を迎えた。当時の内閣総理大臣は佐藤栄作であった。

■ 北欧 2 か国、NATO 加盟申請

スウェーデンとフィンランドは、北大西洋条約機構（NATO）に加盟を申請した。ロシアによるウクライナ侵攻に危機感を強め、長年維持してきた軍事的な「中立」から大きく転換した。

6
月

■ 日本、国連安保理の非常任理事国に選出

国際連合（国連）の安全保障理事会（安保理）を構成する非常任理事国に日本が選出され、2023 年の 1 月 1 日から 2 年間の任期を務める。これにより日本は史上最多となる 12 回目の選出となる。

● 関連ワード「常任理事国」

アメリカ・中国・イギリス・ロシア・フランスの 5 か国で「拒否権」を持つ。第二次世界大戦の戦勝国からなるので日本・ドイツ・イタリアは入らない。

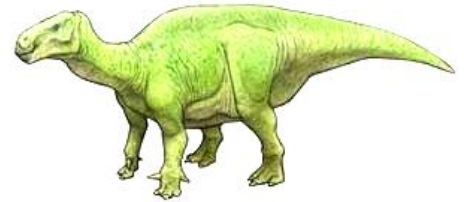
■ リュウグウ試料からアミノ酸

北海道大、岡山大、JAXA（宇宙航空研究開発機構）などの研究チームは、日本の小惑星探査機「はやぶさ 2」が小惑星「リュウグウ」から持ち帰った砂や石にアミノ酸が 23 種類含まれていると発表した。

7
月

■ イグアノドン類の化石発見

白亜紀前期の恐竜化石が数多く見つかった福島県で、新たに植物食恐竜のイグアノドン類の尾と歯の化石が見つかった。過去に発掘された化石よりも約 1 千万年古く、国内最古級とのこと。



■ 安倍元首相が銃撃され死亡

奈良県で 8 日、参議院選挙の街頭応援演説中だった安倍晋三元首相が無職の男に手製とみられる銃で背後から撃たれ死亡した。男は母親が多額の献金をした世界平和統一家庭連合（旧統一教会）に恨みを持っており「つながりがあると思い安倍氏を狙った」と供述。9 月には安倍元首相の国葬が営まれた。

■ 参議院選挙、自民党大勝

10 日に第 26 回参議院選挙の投開票が行われ、自民党が改選 125 議席の過半数となる 63 議席を獲得して大勝した。

■ WHO、「サル痘」で緊急事態宣言

世界保健機構（WHO）はコロナウィルスとは異なる、天然痘に似た感染症の「サル痘」について「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」と発表した。

8
月

■ 第 2 次岸田内閣発足

岸田文雄内閣総理大臣は、19 人の大臣のうち 14 人を交代させて第 2 次岸田内閣を発足させた。松野官房長官ら主要官僚の 5 人は留任し、9 人が初入閣となった。

■ 新型コロナ全数把握見直し

全ての新型コロナ感染者を確認する「全数把握」を見直し、各都道府県知事の判断により、対象を重症化リスクの高い人に限定できる仕組みを導入すると発表。更には 10 月にはいわゆる水際対策も大幅に緩和された。

■ ゴルバチョフ氏死去

旧ソビエト連邦最後の最高指導者で、アメリカを中心とする西側諸国との東西冷戦を終結に導いたゴルバチョフ元ソ連大統領が死去した。享年 91 歳であった。

9
月

10
月

■ 英エリザベス女王死去

英国のエリザベス女王が死去した。享年 96 歳であった。英国君主として最長の 70 年在位した。新国王には長男のチャールズ 3 世が即位した。

■ 日中国交正常化 50 年

日本、中国両国は 1972 年の日中共同声明による国交正常化から 50 年を迎えた。11 月には約 3 年ぶりに日中首脳会談が開かれた。

■ 鉄道開業 150 年

1872 年（明治 5 年）に日本で鉄道が開業して 150 年を迎え、各地で記念式典や催しが行われた。最初の路線は新橋と横浜（現桜木町）とを結んだものだった。

■ 円安、1ドル=150 円突破

為替相場が円安が急激に進み続け、10 月 20 日の東京外国為替市場で一時、1 ドル=150 円台を記録。バブル期の 1990 年 8 月以来、約 32 年ぶりの円安水準を記録。

● 関連ワード「円安・円高」

円安：円の価値が下がること。例)1 ドル=100 円→1 ドル=120 円。輸出は有利・輸入は不利。

円高：円の価値が上がること。例)1 ドル=100 円→1 ドル 80 円。輸出は不利・輸入は有利。

■ イギリス、首相交代相次ぐ

イギリスで、リズ・トラス首相の後任としてリシ・スナク氏が就任した。トラス氏はジョンソン元首相の辞任を受けて就任したが、約 1 ヶ月半での辞任となり同国史上最短。またスナク氏はインド系、ヒンズー教徒、非白人として同国史上初の首相であり、42 歳での就任は過去 200 年で最年少。

■ ソウル・梨泰院(イテウォン)で雑踏事故

韓国・ソウルの繁華街・梨泰院（イテウォン）の路上で、ハロウィン前の 29 日夜、若者らを中心に狭い坂道で折り重なるように倒れる雑踏事故が起き、日本人女性を含む 150 人以上が死亡。

■ 世界人口 80 億人

国連は、世界人口が 80 億人に達したと発表した。今後、低所得国を中心に人口が増加すると予測し、貧困や飢餓の問題解決がさらに困難になるとの懸念を示した。

■ 中国の江沢民氏死去

中国の江沢民元共産党総書記（元国家元首）が死去した。享年 96 歳であった。中国の経済成長を推進し、中国の世界貿易機構（WTO）への加盟を実現した。

■ サッカーワールドカップ「カタール」大会

初の中東地域での開催となったサッカーワールドカップ「カタール」大会が 11 月 20 日に開幕した。12 月 18 日には決勝が行われ、リオネル・メッシ率いるアルゼンチンがフランスを下し、3 回目の優勝を飾った。日本代表は初戦のドイツに勝利し、その後のコスタリカ戦では負けたもののスペインを下し、2 大会連続の決勝トーナメントへの進出を果たした。決勝トーナメント 1 回戦でクロアチアに負け、悲願のベスト 8 入りはならなかった。

■ 日本漢字検定協会が主催する 2022 年の漢字一字は『戦』

■ 防衛費増額

自民、公明両党は 18 日、2023 年年度与党税制改正大綱を決定した。最大の焦点の防衛費増額の財源は、法人税、所得税、たばこ税の 3 税の増税で賄うとしている。

11
月
・
12
月

※2022 年 12 月 21 日現在のものです。